

## 1 苗掘り



8月に畑(苗床)に植え付けられた苗を掘り出し水田苗床へ植付け育苗します。それを11月下旬に掘り出し、本田植え付け株用に根切り、株分けの調整をします。

## 2 植え付け



調整された苗は、12月上旬からいぐさ移植機で植え付けます。

## 3 先刈り



5月上旬ごろ、根元まで日光が当たるようにいぐさの先端を刈り払って、新芽の発芽を促します。(収穫45日前頃に出る芽が長くて高品質のいぐさになります。)

## 5 泥染め



刈り取られたいぐさは、その日のうちにいぐさ独特の色、香り、光沢を出すため、天然染土を使って泥染めを行います。その後、乾燥機で乾燥させます。

### ◆染土

染土は、屋根瓦に使用されている淡路島産の良質の天然粘土が使用されています。

泥染めすることで、表面をコーティングし、乾燥行程で表面だけが乾くのを防ぎ、芯から水分が均一に抜けるように手助けします。また、茎表面の葉緑素の酸化を防ぐので、青く新鮮な状態を長く保つことができます。



## 4 収穫



6月下旬から7月中旬にかけ、成長の良い充実したいぐさを刈り取ります。刈り取り時間帯は、気温が高くない、早朝や夕方です。

## 6 選別



乾燥されたいぐさは、製織する畳表の銘柄にあわせて、長さごとに選別します。

## 7 製織



選別されたいぐさは、傷、太さのチェックをして、一枚一枚時間をかけて畳表に織り上げていきます。

## 9 出荷



製品に対する責任表示を明確にするために、生産者番号を表示するステッカーをつけて、全国に出荷されています。

## 8 仕上げ



製織された畳表は、一枚一枚織り傷がないかなどをチェックする仕上げを行います。